

2025年11月13日

参加者の皆様へ

「秋田内陸縦貫鉄道に乗って長峰さんを応援する会」の報告

秋田内陸線新社長に就任されました長峰英雄さんを応援する会が、11月11日（火）地元秋田こまち会の皆様と、BOB 会有志の皆様のご参加をいただいて「打当温泉マタギの湯」に於いて開催されました。

角館駅に集合した佐藤（茂）さん、畠山支部長、浅利の3人は、13：58発の普通列車に乗車しました。2両編成の車両は殆どが台湾から来られたお客様で満席になる盛況振りでした。また、沿線車窓からは8月豪雨災害の爪痕も随所で見られました。現在は内陸線も全線が開通しましたが、復旧工事関係者のご苦勞が偲ばれました。列車は約一時間で阿仁マタギ駅に到着し、そこから宿の車で打当温泉マタギの湯に到着しました。

当日は、地元秋田こまち会の野呂さんと袴田さん（JTB東北大館支店OB）のお二人は弘前から来られた松岡さん（鷹ノ巣駅から内陸線で阿仁マタギ駅まで乗車）と合流しました。また昼まで仕事だった杉山さんは仙台から車で直接旅館まで駆け付けていただきました。長峰社長にもご多用の中、夕食前には合流していただき、皆さん全員集合となりました。

会食までは、マタギの湯でゆっくりと入浴で疲れを流したあと、お楽しみの会食です。幹事浅利の進行で、まずは「秋田こまち会」を代表して野呂昭光さんから歓迎の挨拶をいただきました。次に畠山支部長から挨拶と乾杯の発声で会食が始まりました。

次に落ち着いたところで、長峰英雄社長から近況も含めてご挨拶をいただきました。突然の人事発令に驚いた事、8月には豪雨で運休が続いた事、またインバウンドで沢山の外国人観光客が来られている事、イベント列車が大好評である事などの話がありました。着任後まだ数ヶ月ではありますが、会社の事や地域の事それに行政等との関係についても短時間でしっかりと勉強をされておられ、知識の多さに皆さん驚かされました。長峰社長は単身赴任ですが、列車通勤の為に規則正しい生活が出来ているとの事で安心いたしました。

懇親会は、宿名物の「熊鍋」や「岩魚の塩焼き」それに地元の山菜など里山の幸が並びました。それに宿自慢の「どぶろく（濁酒）」の提供が一人一合ずつあり、さすがマタギの里らしいお料理とお酒に大満足でした。話題も途切れる事が無く二時間の宴会時間があっという間でした。最後に、本日の参加者からの記念品（角館伝四郎の樺細工ペン立て）を代表して杉山さんから長峰社長へ贈呈され、佐藤茂雄さんの中締めでお開きとなりました。

会食後は、北秋田市の野呂さんと袴田さんがお帰りになったあと、部屋に戻った6人は、一部屋に集まり地酒を飲みながら、長峰社長を囲んで内陸線の将来の話や、地域の観光開発の話、インバウンド対応の話など話題は尽きませんでした。外は初雪が降り積もっています。深夜0時を前に解散して就寝しました。長峰新社長には、健康に留意いただき内陸線・沿線地域の発展に貢献を頂きたいと思います。

翌日、長峰社長から連絡があり「ペン立て」を事務所の机で使っている旨の連絡をいただきました。

幹事 浅利

<参加者>

長峰英雄新社長、野呂昭光、佐藤茂雄、杉山重己、松岡宏二、畠山 廣、袴田鉄廣、浅利 保、

以上8名



